

調査実施要領にありますように、本調査結果は、学力や学習状況の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面ではありますが、学校として以下の結果について真摯に受け止め、子どもたちの学力並びに学習意欲の向上に努めてまいります。保護者のみなさんのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

【学力状況調査】 <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

【 国 語 】	【 算 数 】
<p>全体的な状況</p> <p>平均点は大阪府を上回り、全国と同等です。観点別では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」が全国及び大阪府の平均値を上回っており、良好です。技能面では「話すこと」で全国及び大阪府の平均値を上回っております。しかしながら、情報の扱い方に関する事項については、全国及び大阪府の平均を下回っている状況です。</p>	<p>全体的な状況</p> <p>平均点は全国及び大阪府をわずかに下回っています。領域別では「変化と関係」で全校及び大阪府の平均値を上回りますが、「数と計算」「図形」で下回ります。記述式の正答率が良好で全国及び大阪府を上回っています。</p>
<p>課題</p> <p>資料が複数ある時に、全てを読んで解答を導くことが難しく、どの資料を読めばよいか判断することに課題が見られます。また、資料を読み込む際、順番通りに読むことはできるが、課題に沿って横断的に資料を読むことや、複数の資料を比較しながら読むことに苦手意識があります。</p>	<p>課題</p> <p>(151+49)×3と151×3+49×3を計算したり、分配法則を用いたりして答えを求める問題で課題が見られました。分配法則の数値操作は理解できていても、計算の意味がしっかりと理解できておらず、簡単な間違いをする児童が多かったです。</p>
<p>成果</p> <p>インタビューに関する設題で「～ということだと思いますが、合っていますか。」のように質問をした理由として適切なものを選択する問題の正答状況が良好です。これは、国語科の授業のみならず、他教科において調べ学習等でインタビュー活動を効果的に取り入れたことにより、子どもたちの言語能力が向上したものだと考えられます。</p>	<p>成果</p> <p>椅子4脚の重さが7kgであることを基に、48脚の重さを求める際の自分の考え方を記述する問題の正答状況が良好です。求め方を式や言葉を使用して解答する問題については、これまで本校で継続してきたホワイトボードを使用した学習の成果がでてきたものだと考えられます。</p>
<p>課題解決に向けた取組み</p> <p>普段の授業から、前から順番に考えるだけでなく、思考ツール等も活用しながら、子どもたちが多様な思考方法に触れられる環境を設定していきます。また、必要な情報を複数の情報の中から選択できる力を育成するためのトレーニングとして「論理脳ドリル」を取り入れていきたいと考えています。</p>	<p>課題解決に向けた取組み</p> <p>1列50脚の椅子40列の全ての脚数を200脚と解答した児童が相当数いたことから、授業の中で量感を持つことや、解の見通しをもつ時間を丁寧に設定していきます。また、数式の意味をより理解できるよう、数式に当てはまる文章題を自分でつくるというような反転型の学習も取り入れたいと考えております。</p>

【学習状況調査】

状況が良好な主な項目	本校	府	全国	課題を残した主な項目	本校	府	全国
自分には、よいところがあると思いますか	91	82	84	まったく新聞を読まない	86	80	73
先生は、あなたのようによいところを認めてくれていると思いますか	98	91	90	今住んでいる地域の行事に参加していますか	40	51	58
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはありますか	96	90	91	英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	35	54	53

<p>全体的な状況</p> <p>「朝食を毎日とる」「毎日決まった時間に寝起きする」など、基本的な生活習慣が身につけてきています。また、「人の役にたつ人間になりたい」と考えている児童が大阪府及び全国より多く見られ、「将来に夢や目標を持っている」と回答した児童も多く見られました。</p>	<p>課題</p> <p>「まったく新聞を読まない」と回答する児童の割合が大阪府及び全国よりも多くなっており、日常生活における活字離れの状況が伺えます。また、この間コロナ禍ではありましたが、地域との交流について、課題がみられました。</p>
<p>成果</p> <p>子どもたちの自己肯定感は比較的高く、子どもたちのがんばりを認める普段からの肯定的な声かけが、周囲の人への優しさ、気遣いへとつながっているとと言えます。今後も、ご家庭と学校と一緒に子どもたちの成長を支えていくことができると考えています。</p>	<p>課題解決に向けた取組み</p> <p>令和5年度より、久野喜台小学校では「読売」「毎日」「朝日」の3社のこども新聞を図書館学校に配備し、各教科の中で新聞を活用した授業をすすめているところです。また、地域社会との交流を密にしながら、将来の職業について考える「キャリア教育」についても推進していきます。</p>

○保護者のみなさんへ(全体を通じて)

- ・学校では、互いの意見・考えを尊重し合い、理解を深める機会を各教科の中で取り入れるようにしています。
- ・また、異なる考えを出し合い意見を交わすことを通してよりよい解決策を導き出す機会をより多く設け、自ら進んで諸問題を解決していこうとする力の育成を大切にしていきたいと考えております。
- ・ICT機器に触れる機会が増えた今、使用する上でのルール作りと継続的な見守りが必要だと感じています。スマホやタブレットの使用時間が1日あたり4時間を超えている現状は改める必要があると強く感じます。タブレットやスマホが利便性と危険性を併せ持つという認識を改めて持ち、ご家庭と一緒に取り組んで参りたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。